

令和8年度
練馬区保育所等職員研修計画

ねりまな(簡易版)



©2011 練馬区ねり丸

練馬区教育委員会事務局
こども家庭部 保育課 保育人材育成係

目次

練馬区保育所等職員研修 ねりまな

1 基本方針・研修体系

基本方針 1

(抜粋) 保育所保育指針 第5章 職員の資質向上 2

2 専門研修一覧

分野別 3

練馬区保育所等職員研修 ねりまな

1 基本方針・研修体系

基本方針

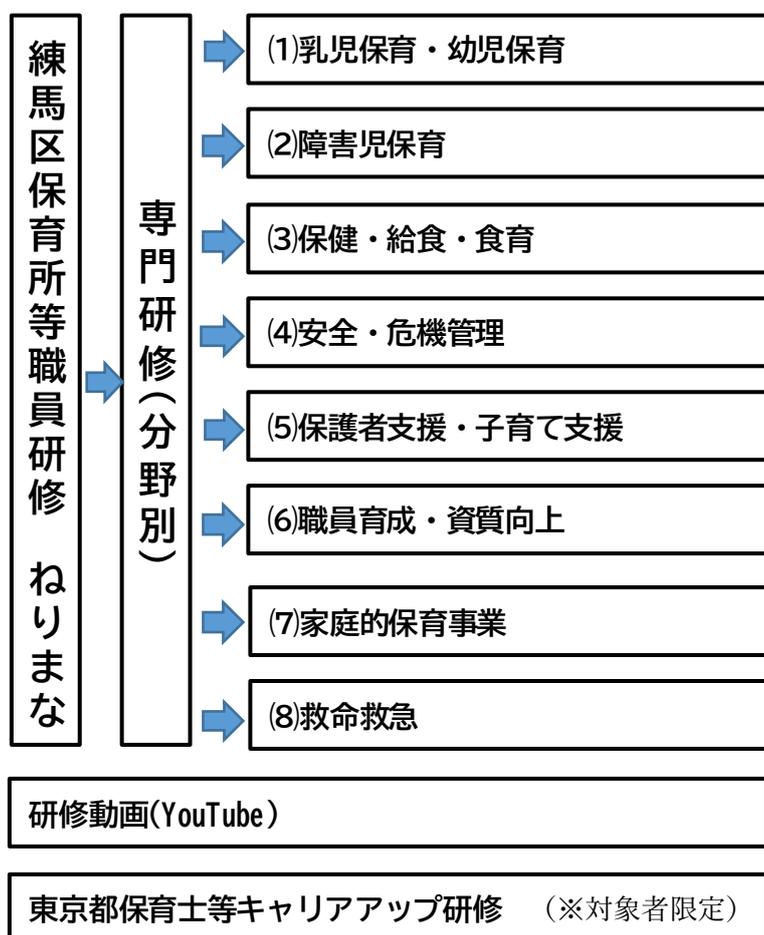
「保育所保育指針」では、「保育所は、質の高い保育を展開するため、絶えず職員一人ひとりの資質向上および職員全体の専門性の向上を継続的に図るよう努めなければならない」とされています。

「保育所保育指針 第5章 職員の資質向上」(次ページ記載)を受け、練馬区では、区内すべての保育所等の職員を対象とした研修を実施しています。練馬区保育所等職員研修 ねりまなを通して、職員一人ひとりの意欲や課題意識に寄り添い、専門性の向上を体系的に支援し、練馬区全体の保育水準の維持・向上を図ります。

練馬区保育課では、区内すべての保育所等の職員(※施設長が推薦する者)を対象とする研修を、下記の研修体系に基づき実施しています。受講者は幅広い分野から研修を選択することができ、保育所に勤務するなどの職種の方でもご受講いただけます(※キャリアアップ研修を除く)。各保育所等におかれましては、職員・クラス・職場全体の課題や水準に応じた研修を選択・受講することで日々の保育にご活用ください。

また、研修は受講して終わりということではなく、受講した職員が研修内容を振り返り、知識や学びを施設内で共有することで、施設全体の保育の質の向上につなげることが重要です。そのため、職場内研修の機会を設けるなど、受講した職員のみならず、組織的な取組につなげ、保育の実践で活用してください。

研修体系図



(抜粋) 保育所保育指針 第5章 職員の資質向上

第1章から前章までに示された事項を踏まえ、保育所は、質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努めなければならない。

1 職員の資質向上に関する基本的事項

(1) 保育所職員に求められる専門性

子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うためには、職員一人一人の倫理観、人間性並びに保育所職員としての職務及び責任の理解と自覚が基盤となる。各職員は、自己評価に基づく課題等を踏まえ、保育所内外の研修等を通じて、保育士・看護師・調理員・栄養士等、それぞれの職務内容に応じた専門性を高めるため、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上に努めなければならない。

(2) 保育の質の向上に向けた組織的な取組

保育所においては、保育の内容等に関する自己評価等を通じて把握した、保育の質の向上に向けた課題に組織的に対応するため、保育内容の改善や保育士等の役割分担の見直し等に取り組むとともに、それぞれの職位や職務内容等に応じて、各職員が必要な知識及び技能を身につけられるよう努めなければならない。

2 施設長の責務

(1) 施設長の責務と専門性の向上

施設長は、保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢等を踏まえ、施設長としての専門性等の向上に努め、当該保育所における保育の質及び職員の専門性向上のために必要な環境の確保に努めなければならない。

(2) 職員の研修機会の確保等

施設長は、保育所の全体的な計画や、各職員の研修の必要性等を踏まえて、体系的・計画的な研修機会を確保するとともに、職員の勤務体制の工夫等により、職員が計画的に研修等に参加し、その専門性の向上を図られるよう努めなければならない。

3 職員の研修等

(1) 職場における研修

職員が日々の保育実践を通じて、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上を図るとともに、保育の課題等への共通理解や協働性を高め、保育所全体としての保育の質の向上を図っていくためには、日常的に職員同士が主体的に学び合う姿勢と環境が重要であり、職場内での研修の充実が図られなければならない。

(2) 外部研修の活用

各保育所における保育の課題への的確な対応や、保育士等の専門性の向上を図るためには、職場内での研修に加え、関係機関等による研修の活用が有効であることから、必要に応じて、こうした外部研修への参加機会が確保されるよう努めなければならない。

4 研修の実施体制等

(1) 体系的な研修計画の作成

保育所においては、当該保育所における保育の課題や各職員のキャリアパス等も見据えて、初任者から管理職員までの職位や職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成しなければならない。

(2) 組織内での研修成果の活用

外部研修に参加する職員は、自らの専門性の向上を図るとともに、保育所における保育の課題を理解し、その解決を実践できる力を身に付けることが重要である。また、研修で得た知識及び技能を他の職員と共有することにより、保育所全体としての保育実践の質及び専門性の向上につなげていくことが求められる。

(3) 研修の実施に関する留意事項

施設長等は保育所全体としての保育実践の質及び専門性の向上のために、研修の受講は特定の職員に偏ることなく行われるよう、配慮する必要がある。また、研修を修了した職員については、その職務内容等において、当該研修の成果等が適切に勘案されることが望ましい。

【分野別研修一覧】

(1) 乳児保育・幼児保育

No.	日時	研修名	対象	研修内容
4	5月27日(水) 14:00～17:00	乳児～幼児のことばと心の育ち ことばの発達の理解と援助	全職員	言葉の発達プロセスを学び、乳幼児の「言葉にならない思い」を受け止め『伝えたい気持ち』を育む関わり方を学ぶ。支援の方法として、環境の整え方や関わり方の工夫を学ぶ。
6	6月2日(火) 14:00～17:00	「体幹づくり」につながる運動あそび	全職員	乳幼児期の発達段階や子どもを伸ばす言葉がけを学び、実際に身体を動かしながら、基礎体力・体幹・バランス感覚が育つ、怪我をしない「体幹づくり」につながる運動遊びを学ぶ。
9	6月15日(月) 14:00～17:00	愛着形成と保育の基本 ～心身を癒すタッチの力～	全職員	愛着形成の重要性を科学的視点から学び、保育の基本を再確認。「心身を癒すタッチ」とは？触れることが心身に与える影響と保育現場でのスキンシップの実践方法や、保育の中で触れられることが苦手な子どもへの関わり方の工夫やセルフタッチについて学ぶ。
24	9月3日(木) 13:30～16:30	ネット時代の子育ち・子育て支援 ～メディアとの付き合い方～	全職員	メディアが乳幼児期の脳や視覚、睡眠に与える影響を科学的根拠で学び、生活リズムの重要性を再確認。排除ではなくコントロールする力を育てる視点や、保護者説明・園でのルールづくりに活かすヒントを学ぶ。
27	9月28日(月) 13:30～16:30	絵本で育む子どもの心とことば ～絵本の選び方と読み聞かせ～	保育士	子どもの安心感や情緒の安定を育む絵本の選び方や読み聞かせの基本を丁寧に学び、すぐに実践できる内容。年齢に応じた絵本選びのポイントや持ち方・めくり方など技術も習得し、子どもとの関わりが楽しくなるヒントを学ぶ。
28	9月29日(火) 13:30～16:30	子どもの主体性を育む保育 ～子どもの「やりたい」が発揮される 保育環境～	全職員	主体性を育む保育をわかりやすく学び、子どもの「やりたい」を尊重する姿勢を再確認。事例共有を通じ、子どもが自由に表現できる環境づくりや非認知能力の育成につながる保育について考える。
30	10月6日(火) 13:30～16:30	アタッチメントが拓く子どもの未来 ～「安心の輪」と非認知的な心の発達～	全職員	乳幼児期の関わりが子どもの将来に与える影響を理論と事例で学び、保育の質を高めるヒントを学ぶ。アタッチメントと非認知能力の関係、『安心の輪』などの概念や研究結果をもとに、保育者としてどのような関わりが求められるのかを考える。
35	10月27日(火) 13:30～16:30	多様な文化を持つ子どもたちと 保護者を支える保育 ～言葉と文化をつなぐために～	全職員	多様な文化を持つ子どもたちと保護者を支えるための具体的な支援方法を学ぶ。言葉だけでなく文化的背景を尊重しながら、子どもが安心して育ち、保護者が信頼できる環境をつくるための実践的なヒントを得る。
37	11月9日(月) 13:30～16:30	非認知能力を育む保育と保育者の役割	全職員	子どもの自発的な遊びを尊重し、非認知能力の重要性和育み方を事例を通して考え、挑戦や失敗を通じた環境づくりの大切さを再確認。保育者の関わり方や遊びの意味を深く理解し、現場で活かせるヒントを学ぶ。

(2) 障害児保育

No.	日時	研修名	対象	研修内容
1	5月14日(木) 14:00~17:00	対応にとまどうこどもと、 関わりに悩む保護者を 結びつけた保育の視点と取り組み	保育士	対応にとまどうこどもが問題を持ったままおとなになったときの姿を学ぶ。そこから、具体的な事例を踏まえて、こどもと保護者への支援を検討する
7	6月10日(水) 14:00~17:00	ステップアップ研修 「発達障害」の理解と支援（初級）	全職員	発達障害の基礎知識を学び、発達障害の種類や特徴を捉えた支援のポイントや対応について学ぶ。事例やワークで実践的に理解し、子ども目線で考える保育の大切さを再確認する。
10	6月17日(水) 14:00~17:00	前言語段階の子どもたちの理解と支援 ～わかってほしい子どもの気持ち～	全職員	子どもたちは保育者の対応に”どんな感じ方をしているのか”を疑似体験する。障がい特性の理解を深め、前言語段階の乳幼児に対する音声言語に頼らない方法や視覚的支援、見通しを持たせる工夫など、すべての子どもに寄り添った支援を学ぶ。
18	7月16日(木) 14:00~17:00	多様な子ども達の保育と保護者対応 ～子どもは1ミリも変えない～	全職員	「子どもを変えるのではなく、まわりの理解と関わり方を変える」という視点から、子どもの困りごとを減らす工夫を考える。ワークや事例を通して、関わり方を見直し、保護者支援やタイプ別対応を学ぶ。
26	9月14日(月) 14:00~17:00	食べる機能の発達と障害児の 食事介助の基本（初級）	全職員	こどもの食べる機能の発達から、日々の食事提供方法、偏食等の困りごとを含めた支援のポイント、また、ダウン症児や発達障害児への具体的な対応も理論に基づき視覚的に学ぶ。さらに、原因疾患は無いが食事や会話などに何らかの支援が必要な子どもの口腔機能発達不全症について学ぶ。
39	11月の 1~2日 実習園と調整	障害児保育・見学参加実習	保育士	インクルーシブ保育の視点を学び、障がいのある子どもと共に過ごす環境の意味を考えます。実習体験や事例を通して、関わり方や援助の工夫を身につけ、現場で活かせる実践力を養う。(実習日は研修生と実習園で調整)
42	12月9日(水) 13:30~16:30	ステップアップ研修 「発達障害」の理解と支援（中級）	全職員	『対応に困る子は(その子自身が)困っている子』という視点を持ち、特性を強みにする保育を考える。合理的配慮や保護者支援、チームで連携する重要性をワークを通して実践的に学ぶ。

(3) 保健・給食・食育

No.	日時	研修名	対象	研修内容
5	5月29日(金) 14:00~16:45	調乳と離乳食の基礎と実際	全職員	動画や写真を使って離乳食の進め方や食事介助のポイントをわかりやすく解説。保護者支援や安全対策、園内連携に活かせる実践的内容。(令和7年度と同様)
8	6月12日(金) 14:15~16:15	けいれん基礎知識と対応について ～プロラム®形状見本での 体験を通して学ぶ～	全職員	新生児集中ケア認定看護師が、けいれんの基礎知識から現場で求められる初期対応までを、臨床経験をもとにわかりやすく解説。プロラム®の形状見本を使用し、実際にどのように準備し、投与するのかを体験的に学ぶ時間も設けています。
17	7月14日(火) 14:00~17:00	乳児保育の留意点 ～健康に過ごすための保育環境や 健康観察・感染症予防対策を学ぶ～	職歴5年未満・乳児保育経験少・他希望者	動画や写真で嘔吐処理や沐浴などの手順を視覚的に学び、乳児期の健康管理や感染症予防の基本を再確認。保護者対応や環境設定など現場で活かせる内容。(令和7年度と同様)

No.	日時	研修名	対象	研修内容
22	8月28日(金) 14:00~17:00	小児栄養に関わる基本のポイント	全職員	小児にかかわる広い知識・技術を修得し、成長に合わせた食事提供や成長曲線の活用など、発達状態に適した栄養指導(支援)や食育についての基本を学ぶ。
32	10月中旬 14:00~16:05	(専門・認定看護師出張講座) 「子どもの事故と感染症」	全職員	事故や感染症の最新情報を具体的な事例で学び、発達に応じた環境整備や予防策を再確認。誤飲対応や嘔吐処理など現場で迷いやすいポイントを具体的に学ぶ。
34	10月23日(金) 13:30~16:30	保育園の食事と食育 ～楽しく・美味しく・安心して食べる～	全職員	離乳食から幼児食までの進め方と援助のポイントを具体的に学び、誤嚥防止や事故対策を事例で理解。食事は食育であり保育という視点を再確認し「楽しく・美味しく・安心して食べる」ことを大切に、理論と実践をつなぐ。
44	12月18日(金) 14:00~17:00	乳児保健の留意点 ～発達や特徴・事故予防・ 緊急時の対応を学ぶ～	全職員	乳児の特徴やふれあい、事故防止と緊急時対応の基本を、事例・動画を通して学ぶ。誤飲や怪我、アナフィラキシー対応、AED・エビペンの使い方など、保護者対応も含め実践力を養う(令和7年度と同様)
48	1月29日(金) 14:30~16:30	小規模施設での給食提供	小規模・家庭的保育事業者	衛生管理の基本から二次汚染防止まで、食事に関わる全員で取り組む重要性を学ぶ。HACCPの理解を深め、事故防止に向けた実践ポイントを再確認し、現場で活かせる知識を得る。(令和6年度と同様)

(4) 安全・危機管理

No.	日時	研修名	対象	研修内容
2	5月21日(木) 14:00~17:00	性的虐待について考える ～保育者の気付き・対話の工夫～	全職員	子どもへの性的虐待について正しく理解する。保育者が日々の保育の中で子どもの小さなサインに気づき、子どもが安心して対話できる、『いや』を言える環境をつくり、性的虐待予防、子どもの権利を守る視点を学ぶ。
3	5月26日(火) 13:45~16:45	子どもの人権を守るとは ～事例を通して対話すること～	全職員	実際の保育現場で起きた事例を通して、子どもの人権を考え、対話の重要性を学ぶ。講義とグループワークを通して、子どもの人権・尊厳を守る保育を再確認。職員間の対話を深める実践力を養う。
14	7月1日(水) 13:30~16:30	「ねりま防災カレッジ保育施設向け講座」 保育施設の防災・BCP入門	全職員	保育施設での災害時の対応方法を知り実際にどのような状況で、どのような対策が必要かなどを実例に基づき学ぶ。また、保育園に即したBCP作成の基礎から作成意義や作成方法のポイントまで学ぶ。雛形や演習で自園の現状を整理し、すぐに取り組み実践的。
25	9月9日(水) 13:30~16:30	性的虐待について考える ～未然に防ぐためにできること～	園長・副園長 (施設長に 準ずる)	子どもの人権・人格の尊重の観点から、保育者の認識の周知と、職場環境の整備、疑われる事実発生時の対応等、保育所の運営を適切に行うための組織マネジメントを、法律や制度、虐待防止、人権を守る視点から学ぶ。
36	11月5日(木) 13:30~16:30	子どもの虐待防止(基礎) 子ども家庭支援センターとの連携	全職員	子ども家庭支援センターや児童相談所の役割と連携を理解し、保育所で求められる保護者支援、虐待防止対応、虐待対応の流れや相談・通告の判断を、事例を通して学ぶ。グループワークで事例検討をする。(令和7年度と同様)
43	12月10日(木) 13:30~16:30	保育園における安全管理の重要性や 危機管理と組織運営研修 ～子ども・保護者・職員の 権利と安全を守る～	園長・副園長 (施設長に 準ずる)	園長・副園長としての役割を見直し、職員との関係づくりやリーダーシップを学ぶ。園の課題を整理し改善に向けた具体的な方法を考えることで保育の質を高め、危機管理を推進しながら子どもの権利を守り、子ども・保護者・職員から信頼される園運営を目指す。

(5) 保護者支援・子育て支援

No.	日時	研修名	対象	研修内容
15	7月7日(火) 14:00～17:00	保護者支援のあり方と園運営	園長・副園長 (施設長に 準ずる)	園長・副園長が現場の保育者と保護者との関係において、どのように支援していくか園としての方向性を示し、実践につなげる力を養う。また、保育者と保護者の関係性を支える園長・副園長の姿勢、保護者との信頼関係を築くための園内連携、そして保育の専門性を伝えるスキルを学ぶ。
21	8月25日(火) 13:30～16:30	信頼関係を築く保護者面談のポイント	全職員	ロールプレイで保護者視点を体験し、保護者面談の進め方や言葉選びなど実践スキルを具体的に学ぶ。心理や非言語サインを理解し、保護者との信頼関係づくりと対応力を高める。
45	1月21日(木) 13:30～16:30	子どもの育ちを支えるための 保護者との関係づくり ～こども家庭ソーシャルワークの視点から～	全職員	園と家庭で連携して子どもの育ちを支える支援の実践に向けて、こども家庭ソーシャルワークの視点から、具体的事例を通して子どもの権利や気づきのポイントを学び、保護者との関係づくりのための支援のあり方を考える。講義と受講生同士の意見交換により現場対応力を高める。

(6) 職員育成・資質向上

No.	日時	研修名	対象	研修内容
13	6月26日(金) 13:30～16:30	社会的養護を必要とする子どもを理解する	全職員	社会的養護や里親制度の基本を学び、社会的養護下にある子どもたちの背景や気持ちへの理解を深める。グループワークや里親体験談を通して、子ども理解や支援の在り方について考える。
16	7月8日(水) 12:30～16:30	継続研修 副園長・主任研修（前期） 職場環境の改善と保育の質を 高めるチーム作り	副園長・主任 (※)	保育の質に影響する「人間関係」「役割分担」「コミュニケーション」の視点から、改善のヒントを探る。グループワークを通して、職場環境の現状を振り返り、課題を共有し、副園長・主任としてのリーダーシップのあり方を考える。後期に向けて、課題を自園に持ち帰り、具体的な改善策を考え実践し、後期に実践報告をする。
	12月17日(木) 12:30～16:30	継続研修 副園長・主任研修（後期） 職場環境の改善と保育の質を 高めるチーム作り		前期からの課題への実践報告を持ち寄り、グループ討議。チームで保育の質を高めるための仕組みづくりを検討する。継続的な振り返りと対話の場のつくり方を学ぶ。
20	8月21日(金) 9:30～16:30	セット研修 子どもの『学びに向かう力』の基礎を育てる 『考える保育』の実践 ～保育を科学的にとらえる～	新任保育士・ 他希望者	子どもの「学びに向かう力」を育てるには、「遊びを」ただの楽しみではなく「学びの芽」を育てる場として捉えることが大事。さらに子どもの現状をデータをとるなど課題をつかみ、課題解決の実践を工夫することが大切。保育者が「考える保育」を実践することで、子どもの主体性・探究心・表現力「考える力」が伸びることを具体例を通して学ぶ。
		乳児保育の質の向上に向けて ～保育士の迷いや困惑と その解決の過程を考える～		現場経験に基づく講義と事例で、子どもの視点に立った保育を学ぶ。グループワークで悩みを共有し、理想と現実を整理しながら、保育者として成長するための視点と実践力を養う。
31	10月13日(火) 18:30～20:30	対話する保育のつくり方	全職員	「おもしろさ」を求めて活動する子どもの願いとの間に応答的・対話的關係をつくりだす視点と方法について考える。

No.	日時	研修名	対象	研修内容
46	1月26日(火) 9:30～16:45	セット研修 コミュニケーション事例から学ぶ 良好な人間関係	新任保育士・ 他希望者	演習や事例検討を通して、保育職場での人間関係づくりに必要なコミュニケーション力の向上と信頼関係を築くためのかかわりについて、体験的に学習する。また、「保育の土台は保育者」であることを念頭に、様々な考えや気持ちを共有しながら「保育の質」を高めることを目指す。
		保育の環境と子どもの育ちを 促進するドキュメンテーション ～保育の「見える化」～		保育園でのドキュメンテーションは、単なる記録ではなく「子どもの育ちを共有し、保育の質を高めるための対話のツール」という視点から、ドキュメンテーションを活用することを学ぶ。保育を「見える化」することで、保育者の成長に繋げる。

(7)家庭的保育事業

No.	日時	研修名	対象	研修内容
11	6月19日(金) 18:30～20:30	園児・保護者との信頼関係を築く ～よりよい保育に向けた言葉がけ～	家庭的保育 事業者・ 他希望者	肯定的な言葉がけを身につけ、子どもへの関わりや保護者・職員とのコミュニケーションをより良くする方法を学ぶ。日々の言葉の積み重ねが、子どもが安心して過ごす環境につながることを理解し、保育の質を高める。
41	12月4日(金) 18:30～20:30	乳児保健の留意点	家庭的保育 事業者・ 他希望者	乳児の基本的な特徴から、健康に過ごすためのポイントや体調不良時の対応と事故予防について学ぶ。

(8)救命救急

No.	日時	研修名	対象	研修内容
12	6月24日(水) 12:50～17:00	普通救命講習	区立園以外 全職員	保育所職員として心肺蘇生法、AEDの使用法等、正しい知識を学び、どのように対処すべきかを知る。講習修了者には技能認定証が交付される。
19	7月23日(木) 12:50～17:00		主に区立園 全職員	
23	8月31日(月) 12:50～17:00		区立園以外 全職員	
29	9月30日(水) 12:50～17:00		主に区立園 全職員	
33	10月21日(水) 12:50～17:00		区立園以外 全職員	
38	11月10日(火) 12:50～17:00		主に区立園 全職員	

No.	日時	研修名	対象	研修内容
40	12月2日(水) 12:50~17:00	普通救命講習	区立園以外 全職員	保育所職員として心肺蘇生法、AEDの使用方法等、正しい知識を学び、どのように対処すべきかを知る。 講習修了者には技能認定証が交付される。
47	1月27日(水) 12:50~17:00			

令和8年度
練馬区保育所等職員研修計画
ねりまな(簡易版)

《発行》
練馬区教育委員会事務局こども家庭部 保育課
保育人材育成係
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
電話 03-5984-1708(直通) FAX 03-5984-1220